

3 かわさき再生から「新たな飛躍」へ

本市はこれまで、「行財政改革プラン」と「川崎再生フロンティアプラン」を両輪とし、徹底した行財政改革と、本市の持つ特徴や強みを活かしたグッドサイクルのまちづくりを進めてきました。

今後も、健康・環境・福祉の各成長産業の振興や川崎らしい文化の育成・発信などを通じ、本市の持つ特徴や強みを一層強化して持続的なまちづくりを進めるとともに、人口減少や社会経済環境の変化があっても、子育て・高齢者・障害者施策をはじめとする市民生活の安全安心を確保する人間都市づくりを着実に進めます。

1 京浜臨海部における国際戦略拠点の形成 【総予算額:2,137,325 千円】

多摩川を挟んで羽田空港対岸に位置する殿町国際戦略拠点「キング スカイフロント」を中心に集積する人材・情報・技術などの地域資源や立地優位性、交通インフラなどを活かし、ライフサイエンス・環境分野の最先端の研究開発拠点の形成を推進します。

特にライフサイエンス分野については、国際戦略総合特区を活かして、国際社会の課題解決に貢献しながら、日本経済の持続的な成長を牽引することを目指します。

国際戦略拠点形成の推進 1,159,608 千円

1 企業等の立地促進 42,084 千円

殿町国際戦略拠点への企業等の誘致促進のため、PR 事業や誘致推進事業等を実施します。

- 主に海外企業誘致に向けたPR 20,000 千円
- 企業等誘致の推進 13,000 千円
- 国際的な拠点としての生活環境整備に向けた検討等 6,400 千円
- 特定都市再生緊急整備地域の整備計画に基づく事業推進 2,684 千円

2 研究開発の促進 14,942 千円

殿町国際戦略拠点に立地する企業等が行う研究開発を支援します。

- 総合特区内外の企業等のマッチング 4,750 千円
- ライフサイエンス分野の共同研究に対する補助 10,192 千円

3 総合特区の取組推進 1,102,582 千円

国際戦略総合特区における規制緩和、税制支援等を活用した拠点形成を推進します。

- 神奈川県・横浜市と共同で実施する総合特区の取組 12,000 千円
- アドバイザーの意見等の施策への反映 2,000 千円
- エネルギー基盤の強化に向けた検討 7,000 千円
- 国立医薬品食品衛生研究所の移転整備(土地購入) 1,077,000 千円 など

殿町国際戦略拠点 キング スカイフロント



国際戦略拠点中核施設の整備・運営 881,540 千円

【中核施設とは】 先端的な研究開発を行い、拠点形成を先導する施設です。

1 中核施設の運営 878,540 千円

川崎生命科学・環境研究センター L i S E (ライズ) に入居する市施設の管理を行います。

【入居する市施設の運営経費】

- ・環境総合研究所 496,849 千円
- ・健康安全研究所 357,036 千円
- ・海外ビジネス支援センター 23,148 千円 など

2 レンタルラボ等整備の検討 3,000 千円

ベンチャー企業等の誘致促進に向け検討を行います。

◇第1段階整備:

実中研 再生医療・新薬開発センター
(施設管理者: (公財) 実験動物中央研究所)

iPS 細胞による再生医療の実現や革新的新薬の研究開発等に取り組んでいます。



◇第2段階整備:

川崎生命科学・環境研究センター (L i S E (ライズ))
(P12 参照)

様々な企業・研究機関等と連携しながら、ライフサイエンス・環境分野の先端的な研究開発に取り組みます。

拠点形成と一体化した周辺地区の整備 32,697 千円

1 塩浜地区の研究開発施設の整備推進 14,497 千円

市有財産を活用した研究開発施設の整備等を進めます。

2 産業道路駅前のバス交通広場の整備推進 15,200 千円

臨海部交通アクセス改善に向けた取組を進めます。

3 羽田連絡道路関連調査の実施 3,000 千円

羽田空港へのアクセス改善に向けた調査を実施します。



新川崎・創造のもりにおける産学共同研究の推進 32,334 千円

ライフサイエンス分野をはじめとする多様な分野で要素技術として応用されるナノ・マイクロ技術を核とした、産学共同研究の推進による産業振興に取り組みます。

1 ナノ・マイクロ技術の活用等に向けた支援 25,334 千円

市内ものづくり企業のナノ・マイクロ技術の習得・活用に向けた体系的な支援に取り組みます。

- ナノ・マイクロ産学共同研究開発補助金の創設 10,000 千円
- ナノ・マイクロスクールの開催や産学連携支援コーディネーター事業の実施等 15,334 千円

2 新川崎・創造のもり第3期計画の推進 7,000 千円

次期整備施設の基本計画の策定を行います。

【関連事業】

- ・新川崎・創造のもり第1期（K2タウンキャンパス）の管理・運営 (72,252 千円)
- ・かわさき新産業創造センター（KBIC）の管理・運営 (5,566 千円)

新川崎・創造のもり第3期事業

◇第1段階事業

ナノ・マイクロ産学官共同研究施設 NANOBI C

- ・大型クリーンルーム及び実験スペースを備えたナノ・マイクロ産学官共同研究施設NANOBI C



- ・4大学（慶大・早大・東工大・東大）ナノ・マイクロファブリケーションコンソーシアムの有する最先端の研究機器が利用可能（有料）

- ・東京大学社会連携講座（東京大学及び日本アイ・ピー・エム㈱）、ナノテクベンチャー企業など、ナノ・マイクロ技術に関する最先端の研究機関等が集積

◇第2段階事業 次期施設整備の推進

- ・次期事業地区0.92haにおける新たな施設整備を計画



<新川崎・創造のもり>

連携

臨海部全体の価値向上

臨海部の戦略的なマネジメント 23,246 千円

臨海部の各地域の特性を踏まえた戦略的な土地利用の誘導を図り、基盤整備を実施することで、臨海部エリア全体の価値の向上を図ります。

○臨海部立地企業の動向把握及び情報管理 2,250 千円

- 浮島地区土地利用の推進 13,746 千円
- 臨海部交通アクセス改善に向けた取組 7,250 千円

【基盤整備関連事業】

- ・川崎縦貫道路の整備 (61,000 千円)
- ・京浜急行大師線連続立体交差事業 (3,827,116 千円)
- ・臨港道路東扇島水江町線整備 (1,195,764 千円)

【スマートシティ戦略関連事業】

- ・スマートコンビナート形成の促進 (5,000 千円)
- ・水素ネットワークの構築 (4,000 千円)

【拠点形成関連事業】

- ・先端産業創出支援助成（イノベート川崎） (116,655 千円)

【交通アクセス関連事業】

- ・市バス路線の充実（車両購入 6両 など） (173,109 千円)



臨海部ブランドの確立に向けた取組 7,900 千円

臨海部に集積する高度な環境技術などの地域資源を生かし、臨海部のブランド化に向けた情報発信等に取り組みます。

- 臨海部のPRによる価値向上 7,000 千円
- 川崎臨海部再生リエゾン推進協議会の開催 900 千円



◇臨海部のPRによる価値向上



<シンポジウムの開催>

川崎生命科学・環境研究センター【L i S E (ライズ)】 (Life Science & Environment Research Center)

ライフサイエンス・環境分野を中心に世界最高水準の研究開発から新産業を創出する、殿町国際戦略拠点「キング スカイフロント」において、拠点形成を先導する中核施設です。

交流ラウンジ等の共用施設を通じた研究者の相互交流によって相乗効果を生み、研究活動をさらに促進し、近隣の企業・研究機関と連携しながら新産業創出を目指します。

平成 25 年 3 月開設



フロア案内

- ◆4階 レンタルラボ (民間施設)
- ◆3階 環境総合研究所
- ◆2階 健康安全研究所
- ◆1階 共用施設等
 - ・海外ビジネス支援センター
 - ・国連環境計画 (UNEP) 連携プロジェクト事務所及び視察研修室
 - ・ホール (150 席)
 - ・交流ラウンジ (障害者就労のカフェ併設)



健康安全研究所

感染症の発生や食の安全・安心を脅かす健康危機に対して、迅速正確な試験検査を実施します。

また、調査研究により集積される専門的・先進的な情報を提供することにより、健康被害の発生予防や拡大防止を図り、市民の健康を守ります。



【具体的事業内容】

- 感染症情報発信システムの新規導入による感染症対策
 - ・システムを活用した迅速な患者・病原体情報の把握及び早期感染症対策
 - ・感染症情報発信システム等により得られた情報のホームページ、講演会、発表会等を通じた市民への提供
- 産学公民連携による調査研究の実施
 - ・(公財) 実験動物中央研究所、(財) 神奈川科学技術アカデミー (KAST) 等の研究機関や民間企業と協力した、公衆衛生の向上・国際化を見据えた研究の実施

環境総合研究所

地域の良好な環境を守るための大気や水質の監視・調査・研究業務に加え、本市の優れた環境技術による国際貢献の推進など総合的な研究を実施します。

また、大学や外部研究機関、市内企業などとの連携による研究活動を進め、川崎発のグリーン・イノベーションを促進します。



【具体的事業内容】

- 大気や水質の環境の監視・調査・研究
 - ・環境改善・汚染未然防止の取組、化学物質の環境リスク調査・研究など
- 環境技術情報の収集と国内外への発信
- 国際的なネットワークの推進
 - ・国際機関との連携プロジェクト、海外視察等の対応
- 産学公民連携共同研究
 - ・産学公民連携による本市フィールドを活かした環境研究
- 多様な主体と連携した環境教育・学習
 - ・市民、企業等と連携した環境問題に関する教育及び学習

海外ビジネス支援センター

市内企業に対する海外展開支援のワンストップサービス化を図ります。

【具体的事業内容】

- 海外支援コーディネーターによるサポート
 - ①海外展開ニーズ把握、②販路開拓サポート、③海外展開戦略にかかる個別具体的支援等、市内企業の各ステージに合わせた支援の実施
- ホームページ等を活用した情報発信
 - 海外展開ニーズを有する市内企業の情報発信



レンタルラボ

ライフサイエンス・環境分野の高度な技術を有する企業・研究機関が入居することが見込まれています。

これらの入居企業・研究機関の相互交流やキング スカイフロント内をはじめとした、様々な企業・研究機関等との連携による研究活動の促進、更には、新産業の創出を目指します。



2 次世代産業の推進

ウェルフェアイノベーションの推進およびコンテンツ産業等の振興を通じて、市民生活の質の向上や国際社会への貢献を図りながら、次世代の本市経済を牽引する新たな産業の創出・育成を行います。

●ウェルフェアイノベーションの推進に向けた取組(48,940千円)

超高齢化社会の到来により、高齢者や障害者が地域で自立できる生活支援が必要とされています。本市独自の福祉製品の基準である「かわさき基準」を推進し、市内に集積するものづくり技術やノウハウを活用し、福祉産業の振興に取り組みます。また、今後、高齢化問題に直面する中国・アジアにおいて、本市の福祉製品・ノウハウ等を活用して福祉産業市場を開拓して国際的な高齢化社会に貢献します。

1 かわさき基準の推進

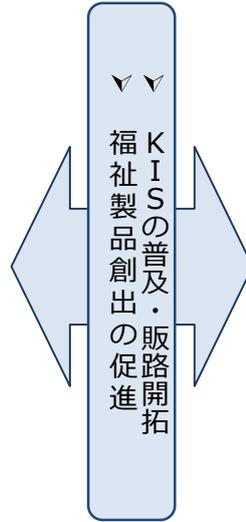
「かわさき基準（KIS）」に基づく福祉製品の評価・認証を行うとともに、KIS 認証福祉製品の認知度向上のための事業を行い、KIS の普及促進を図ります。

2 かわさき福祉製品創出支援事業

福祉製品の試作品製作支援、補助制度を設け、試作品製作から製品開発、出展補助など一連の支援を行い、市内中小企業の福祉産業分野への参入を促進します。

3 中国福祉産業連携モデル事業

今後、高齢化社会が到来する中国において、市内中小企業と中国企業とのマッチング等を行い、中国市場の川崎発福祉製品の販路開拓を推進します。



○仮称ウェルフェアイノベーション推進会議の設置

市内横断による会議を設置し、保健・医療関係部局との連携や意見交換を行い、関連法令を踏まえながら福祉機器の創出、活用促進について検討を行います。

○福祉と企業のマッチングを推進するプラットフォームの設置

福祉産業に関連する専門家等で構成し、利用者ニーズに基づいた製品開発や流通・販売等の拠点づくりを推進します。

○かわさき基準

(KIS: Kawasaki Innovation Standard)

住み慣れたまちで、誰もが自立して楽しく安心に暮らすことを目指した川崎市独自の福祉製品のあり方を示した基準です。



KIS マーク



●ライフサイエンス産業の振興 (9,300千円)

産学公連携による研究開発、事業化の促進を図るとともに、最先端の科学技術に関する情報発信を行います。

- ・かわさきサイエンス&テクノロジーフォーラムの開催
- ・ライフサイエンスネットワーク事業の展開 など

●コンテンツ産業の振興 (4,840千円)

コンテンツが持つ力をあらゆる業種で活用し、市内産業の活性化を図ります。

- ・コンテンツ活用研究会の実施
- ・仮称コンテンツ活用成果発表会開催
- ・仮称コンテンツ活用事例集作成 など

●知的財産戦略の推進 (8,842千円)

国際競争力をもった産業の育成・強化を図るため、知的財産戦略に基づく知的財産戦略に基づく知的財産戦略推進プログラムに取り組みます。

- ・知的財産交流会開催
- ・知的財産シンポジウム開催
- ・知的財産スクール運営 など

3 カーボン・チャレンジ川崎エコ戦略(CCかわさき)2013

《環境と経済の調和と好循環による低炭素社会の実現を目指して》

「環境」と「経済」の好循環を推進し、持続可能な社会を地球規模で実現するため、『地球温暖化対策の推進に関する条例』や『地球温暖化対策推進計画(CCかわさき推進プラン)』に基づき、地球温暖化対策の取組をより一層進めてまいります。



CCかわさき3つの柱 平成25年度予算案 4,338,350千円	I 川崎の特徴・強みを活かした環境対策の推進 [875,750千円]
	II 環境技術による国際貢献の推進 [128,268千円]
	III 多様な主体の協働によるCO ₂ 削減の取組の推進 [3,334,332千円]

優れた環境技術による低炭素社会の構築 47,091千円

持続可能な低炭素社会の構築を目指し、市内の優れた環境技術を活かした地球規模での温室効果ガスの削減に取り組みます。

- ◇川崎メカニズム認証制度 12,521千円
川崎発の環境技術による市域外での温室効果ガス削減貢献量を評価・認証する全国自治体初の制度を開始します。
- ◇低CO₂川崎ブランドの認定と普及促進 5,190千円 など
市内の優れた環境技術をブランド認定し、普及啓発に取り組みます。

環境分野におけるエネルギー対策の推進 537,727千円

低炭素社会の構築に向け、創エネ・省エネ・蓄エネの取組を総合的に推進し、エネルギーの有効利用を図ります。

- ◇再生可能エネルギー設備等の導入支援 129,520千円
太陽光発電設備、太陽熱利用設備のほか、新たに家庭用燃料電池及び定置用リチウムイオン蓄電池の設置助成を実施し、再生可能エネルギーの普及を図ります。
- ◇公共施設への環境配慮型設備等の率先導入 73,000千円
市建築物の環境配慮標準を策定し、省エネモデル事業等に着手します。
 - ・市役所第3庁舎(最適制御検討)
 - ・幸区内施設(一括省エネ化検討)
 - ・新川崎駅周辺自転車等駐車場第5施設(太陽光・蓄電池)
- ◇住宅・建築物における創エネ・省エネ・蓄エネの推進 25,000千円 など

環境技術による国際貢献の推進 128,268千円

- ◇川崎国際環境技術展の開催 45,719千円
市内の優れた環境技術をアジアを中心とした海外に移転し、環境技術による国際貢献、産業の活性化を目指します。
- ◇国際環境施策の推進 3,635千円
- ◇かわさきコンパクト推進事業 2,079千円 など

地域における地球温暖化対策の推進 1,454,080千円

環境に配慮したライフスタイルの実践に向けた取組を推進します。

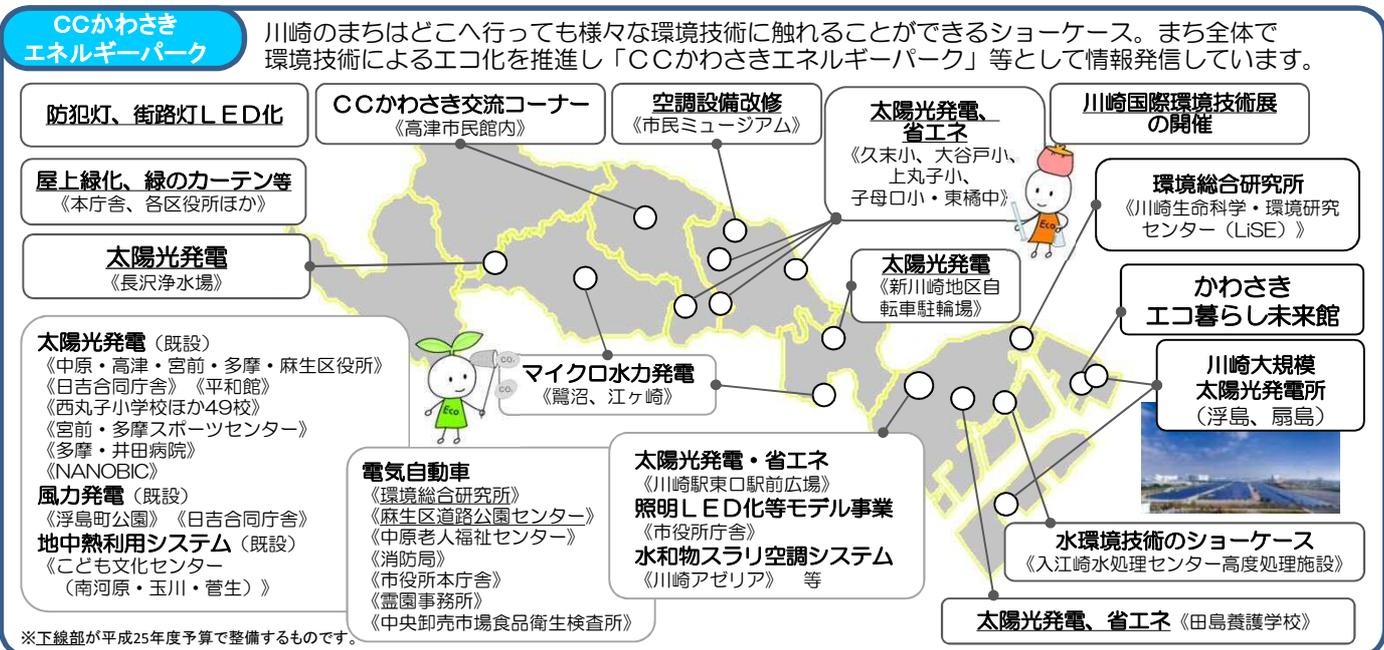
- ◇CCかわさき推進事業 20,412千円
スマートライフスタイル大賞の実施や地球温暖化防止活動推進センター等との協働による普及広報を推進します。
- ◇かわさきエコ暮らし未来館運営事業 32,989千円
- ◇EV・充電基盤の導入促進 9,964千円 など

事業活動における地球温暖化対策の推進 589,943千円

- ◇条例に基づく事業者の環境配慮の促進 29,649千円
- ◇中小規模事業者のエコ化支援 15,000千円 など
中小規模事業者の再生可能エネルギー源利用設備の導入や省エネルギー型設備への更新等を支援します。

市の率先した環境配慮の取組の推進 1,477,214千円

- ◇エコオフィス推進事業 15,798千円 など
全市的な節電対策をはじめ、グリーン電力の購入や電気自動車の導入、環境配慮契約推進方針に基づく取組などを行います。



スマートシティ戦略の推進

～持続可能なスマートシティKAWASAKIをめざして～

356,511千円 (左頁の一部含)

～ 持続可能な社会の実現に向けて、エネルギーの最適利用による低炭素化をはじめ、災害時における安全・安心、市民生活の利便性や質の向上などにつながるような、スマートな取組を推進します ～

～生活環境の充実～
(市民生活、福祉・医療、教育分野) 143,520千円

◇小杉駅周辺地区関連 1,500千円

地域特性を踏まえ、ICT等を活用した地域コミュニティ情報発信方策及び低炭素なまちづくりの促進に向けた検討

◇スマートスクールの推進 12,500千円

新川崎F地区新設小学校をゼロエネルギー学校のモデルとし、基本計画策定において、施設整備手法や避難所等学校防災機能の強化策を検討



◇再生可能エネルギー設備等の導入支援 129,520千円【再掲】

～地域交通システムのスマート化～(交通分野) 19,497千円

◇市有地を活用した環境配慮型カーシェアリングの推進



◇バスロケーションシステムの導入促進 2,533千円

◇ユニバーサルデザインタクシーの導入促進 7,000千円

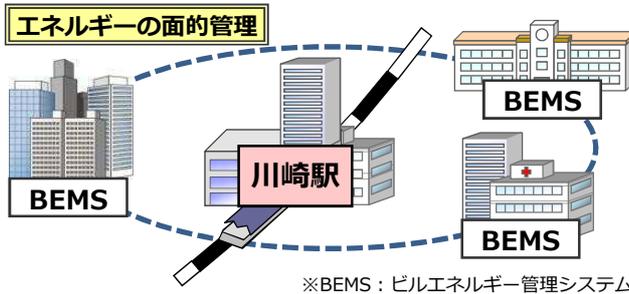
◇EV・充電基盤の導入促進 9,964千円【再掲】

～スマートシティ構想の策定と構想を牽引するモデル事業等の推進～ 58,223千円

◇スマートシティ構想の策定 12,183千円

◇川崎駅周辺地区 17,040千円

- ・既成市街地における地域主体のエネルギーマネジメント構築に向け、施設間のエネルギー融通等実証事業の実施や防災等を含めたスマート化の検討 4,000千円
- ・地域のエネルギーマネジメントに市庁舎を接続し、市として実証事業に参画 13,040千円



◇富士見周辺地区 3,000千円

公共施設再編を契機とし、地区全体の高セキュリティで安定的なエネルギーマネジメントをはじめとしたスマート化に向けた検討

◇小杉駅周辺地区 7,000千円

都市型居住地域におけるスマートライフスタイルの実現を目指し、市民参加によるモデル事業の実施



◇等々力緑地地区 3,000千円

施設の再編整備に併せ、広域避難場所として求められる安定的なエネルギー環境に向けた検討

◇川崎臨海部地域 16,000千円

・スマートコンビナートの形成促進 5,000千円
川崎臨海部が有する優れた環境技術を活かし、企業間のエネルギーインフラ等の連携に向けた事業化促進方策の検討

・川崎臨海部水素ネットワークの構築 4,000千円
革新的な水素の運搬・貯蔵技術を活用した地域水素ネットワークの構築に向けた立地企業等との協議組織の設置及び検討

・殿町地区のエネルギー基盤の強化 7,000千円
殿町など拠点地区を中心に、効率的で自立性の高く、災害に対しても、安全・安心なエネルギー基盤の構築に向けた取組方策を検討

～安全・安心な都市づくり～(まちづくり分野) 120,271千円

◇川崎駅周辺地区関連 19,571千円

- ・北口自由通路西口側デッキ延伸部の予備設計 (太陽光発電設置検討を含む。) 13,743千円
- ・エネルギー方策と連携しICT等活用による駅周辺の情報発信の検討
- ・災害時帰宅困難者対策として、ハード・ソフト両面の安全確保対策検討 5,828千円

◇水処理センター施設等のエネルギーマネジメント方策検討 2,700千円

◇公共施設への環境配慮型設備等の率先導入 73,000千円【再掲】

◇住宅・建築物における創エネ・省エネ・蓄エネの推進 25,000千円【再掲】

～スマート技術による産業振興・国際展開～(環境分野、産業振興分野) 15,000千円

◇先端環境技術等を活かしたショーケース化の推進

川崎国際環境技術展をはじめとするCCかわさきエネルギーパークの展開による技術移転、国際貢献、情報発信など



◇中小規模事業者のエコ化支援 15,000千円【再掲】

4 安心して子育て・地域生活を送るための環境づくり

(1) 子育て環境の充実

子育ての不安を解消し、安心して子どもを産み、育てることができる社会を目指し、総合的な子育て支援体制を確立し、多様な子育てサービスを選択・利用することができる環境づくりを進めるなど、子育てに関する環境の充実に向けた取組を行います。

安心して子育てできる環境をつくる

1 親と子の健康づくりの推進

1,602,514 千円

安心して出産ができる環境の整備、乳幼児の発育・発達の支援と育児不安の軽減、支援を必要とする家庭への相談支援の充実など、安心して妊娠・出産・育児ができる環境づくりに向けた取組を進めます。

- 妊婦健康診査費の助成
- 特定不妊治療費の助成
- こんにちは赤ちゃん訪問、新生児訪問等の実施 など



2 多様な保育の充実

28,222,673 千円

子育て家庭の多様なニーズに対応するために、認可保育所の整備や認可外保育事業の充実に向けた取組を進めます。



- 保育受入枠の拡大 20,502 人 → 22,312 人 1,810 人の増
(認可外保育施設の援護対象児童数を含む。)
- 認可保育所の整備 1,270 人定員増(平成 25 年度整備)
- 認可外保育事業の再構築
- 新たな川崎認定保育園の創設と保護者負担軽減策の実施 など
(保育に欠ける児童の保護者に対して児童 1 人あたり月 5 千円の支給)

3 児童に関する総合的な相談・支援体制の確立

1,403,367 千円

家庭での養育が困難な児童の生活の場と健全な成長と発達を保障するために、児童養護施設等の整備を推進するとともに、運営費の助成を行うなど、社会的養護の充実を図ります。

- 仮称こども心理ケアセンターの整備
- 児童養護施設の整備及び改築 など



4 児童虐待の防止

78,100 千円

児童虐待の相談・通告件数が増加するなか、虐待の未然防止、早期発見・早期対応に向けた取組を進めます。

- 児童虐待の未然防止に関わる普及・啓発
- 要保護児童対策地域協議会の運営 など

5 地域子育て支援の推進

418,278 千円

子育てに関する相談体制の充実や地域活動への支援など、地域の実情に応じたきめ細やかな施策を推進します。

- 地域子育て支援センター事業の充実
51 カ所 → 53 カ所
- 病児・病後児保育施設の整備
- 地域子育て支援情報提供事業 など

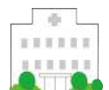


6 小児初期救急医療体制の拡充

40,150 千円

南部と北部の 2 カ所に設置されている小児急病センターについて、新たに中部(日本医科大学武蔵小杉病院)に開設し、小児初期救急医療体制の拡充を図ります。

- 中部小児急病センターの開設

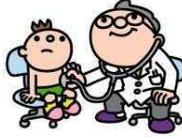


7 小児医療費等の助成

4,568,248 千円

子どもの健康と福祉の増進や子育て家庭における経済的負担の軽減を図るため、小児医療費等の助成を行います。

- 小児医療費助成制度の実施など

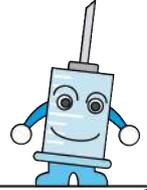


8 予防接種事業の推進

3,125,880 千円

感染の恐れがある疾病の発生及びまん延の防止を図るため、定期予防接種等を実施します。

- 対象疾病
ジフテリア、百日せき、破傷風、ポリオ、麻しん、風しん など



子どもの安全・安心を守る

1 通学路の総合的な安全対策の実施

518,646 千円

通学路の総合的な安全対策を図ります。

- 通学路等の安全対策
路側帯カラー舗装・防護柵設置など 82 カ所
- スクールゾーン対策
路面標示「スクールゾーン」など 85 カ所→95 カ所
電柱巻付標示「通学路」 650 カ所
- 児童生徒交通安全対策
地域交通安全員の配置 87 カ所→99 カ所



2 学校防災機能の強化

803,622 千円

児童生徒の帰宅困難時に備えた備蓄物資の整備や、学校防災機能の施設整備等を実施し、児童生徒の安全を確保します。

- 備蓄物資の整備
(水、非常食、防寒シート)
- 学校防災機能の施設整備
(非構造部材の耐震化、非常用電源の確保など)



子どもの教育環境の充実を図る

1 幼児教育の振興

2,508,727 千円

私立幼稚園に就園する園児の保護者に対し、負担を軽減するため、保育料等の補助を拡充します。また、幼児教育の充実と振興を図ります。

- 保育料補助の拡充
- 幼稚園における特別支援教育への助成拡充 など



2 学習指導環境の充実

409,912 千円

学習指導要領の改訂による授業時間数の増への対応やきめ細やかな指導を行うための環境の充実を図ります。

- 外国語指導助手(ALT)の配置
67 人 → 70 人
- 理科支援員の配置
小学校全校への配置
- 少人数指導等の充実



3 児童生徒の増加に対応した教育環境の充実

9,524,982 千円

地域の住宅開発等を受け児童・生徒が増加している学校に対し、教室確保等良好な教育環境を整備します。

- 増改築工事の実施
大谷戸小、上丸子小、子母口小・東橋中合築、はるひ野小、白鳥中 など
- 新たな小学校の整備計画
新川崎地区(基本計画)
小杉駅周辺地区(基本計画、基本・実施設計)



4 子どもへの支援活動の推進

244,542 千円

子どもが抱えるいじめや不登校、家庭問題などの課題への支援を推進します。

- 児童支援コーディネーターの専任化
小学校 35 校
- スクールソーシャルワーカーの配置
6 名 → 7 名
- スクールカウンセラーの配置
中学校全校への配置
- 生活保護世帯等への学習支援
中学3年生を対象に4カ所



(2) 高齢者施策の充実

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活し、介護が必要となっても「かわさき」で暮らし続けられる支え合いのまちづくりを進めるなど、高齢者施策の充実に向けた取組を行います。

1 特別養護老人ホーム等の整備

5,254,493 千円

特別養護老人ホーム、介護老人保健施設などの介護サービスの基盤整備を推進します。

- 特別養護老人ホーム 5カ所 420床
- 介護老人保健施設 1カ所 126床
- 小規模多機能型居宅介護 8カ所
- 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 5カ所 など

2 介護保険サービス・在宅福祉

サービスの推進 70,241,738 千円

介護保険サービス・在宅福祉サービスの推進を図ります。

- 介護保険給付事業
- 高齢者外出支援サービス事業
- 緊急通報システム事業
- 福祉人材確保支援事業 など

3 健康づくり・介護予防の推進

1,913,602 千円

生活機能の維持・強化が図られるよう介護予防等に取り組みます。

- 地域包括支援センターの体制強化
- 介護予防いきいき大作戦の推進
- 介護予防事業の実施 など



4 認知症高齢者施策の充実

183,656 千円

認知症高齢者の施策の充実を図ります。

- 認知症疾患医療センターの運営
- 高齢者虐待予防対策事業 など

(3) 障害者施策の充実

障害のある人が地域で自立した生活を営むことができるよう、自立と共生の地域社会の実現を目指して、新たな在宅福祉施策を実施するなど、障害者施策の充実に向けた取組を行います。

1 在宅サービスの充実 3,762,929 千円

障害者の地域における生活を支えるため、在宅サービス等の充実に取り組みます。

- 相談支援体制の再編による強化
- 発達障害地域活動支援センターの整備
- グループホーム等併設の小規模短期入所事業所の確保 など

2 日中活動の場の整備と充実

11,389,425 千円

地域の中で日中活動ができるよう、基盤の整備と支援体充実を図ります。

- 井田重度障害者等生活施設の運営
- 通所施設の整備 など



3 地域生活移行型施設への転換と居住支援の充実 5,315,504 千円

障害者の重度化や高齢化に対応した住まいの確保や生活支援の充実に取り組みます。

- 身体障害者グループホームの整備 2カ所 → 3カ所
- 知的障害者グループホームの整備 117カ所 → 126カ所
- 精神障害者グループホームの整備 65カ所 → 66カ所 など

4 総合リハビリテーションセンターの整備

128,118 千円

専門的、先進的、総合的なリハビリテーション機能の構築に取り組みます。

- 中部リハビリテーションセンターの整備
- 仮称障害者リハビリテーションセンターの整備



(4) 経済・雇用対策の充実

本市を取巻く経済・雇用情勢は依然として厳しい状況にあることから、国の経済活性化対策を踏まえつつ産業界とも連携しながら、引き続き経済・雇用対策を進めます。



経済・雇用対策 平成25年度予算による対応 総額 891億円

- 活力ある社会を構築するための経済対策 約 885 億円
- 安定的な就業を確保するための雇用対策 約 6 億円



活力ある社会を構築するための経済対策

1 中小企業の資金調達の支援 32,337,475 千円

中小企業向け融資制度を継続して実施し、中小企業の経営安定を図ります。

- 市内中小企業への間接融資
融資枠 934 億円の確保
- 信用保証料補助等の継続



2 公共事業の早期発注・地域配慮 50,008,842 千円

早期発注等の取組、工事費の確保を図ります。

- 公共事業の早期発注
(上半期の公共工事発注率 80%を目指す)
- 市内中小企業優先発注の配慮
- 公的債務支払の早期化
- 工事費総額及び市内中小企業の受注に
配慮した補修工事費の確保 など



3 中小企業の経営支援等の充実 20,532 千円

中小企業の経営支援や商店街の活性化に取り組めます。

- 出張キャラバン隊による中小企業等への支援
- 商業者等による先進的な取組等の支援
- 中小建設業者への支援
- ものづくり企業への販路開拓支援 など

4 その他経済関連対策 6,081,750 千円

- 消費生活相談窓口業務等の実施
- 国の経済対策等と連携した取組
(子育て支援・介護支援 など)

安定的な就業を確保するための雇用対策

1 緊急雇用対策 331,902 千円

依然として続く厳しい雇用情勢に対応するため、緊急雇用対策を引き続き実施します。

- 介護人材の育成雇用事業
- 新卒未就職者等の就業支援
- 求人開拓強化事業による雇用の創出

3 自立に向けた基盤づくり 254,591 千円

生活保護受給者等の就労促進を図ります。

- 就労意欲の喚起、求人開拓の実施
- 中間的就労の場の確保 など

2 就業支援の実施 37,556 千円

求職者及び若年者の雇用機会を創出するなどの就業支援を実施します。

- 就業マッチング事業の実施
- 就職準備セミナーの開催
- 企業合同就職説明会の開催
- 若年無業者の職業的自立の支援
臨床心理士による心理相談、職業意識
啓発事業、保護者向けセミナーの実施 など

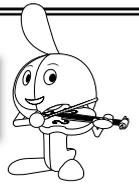


5 魅力あふれるまち・かわさき

「音楽のまち・かわさき」の推進

ミュージア川崎シンフォニーホールを核とした音楽のまちづくり

1,189,918 千円



「音楽のまち・かわさき」マスコットキャラクター
かわさきミュートン

リニューアルオープン

震災の影響により被害を受けた、ミュージア川崎シンフォニーホールの復旧工事が完了し、平成 25 年 4 月 1 日にリニューアルオープンします。

「音楽のまち・かわさき」の中核施設として、再び、市民に良質な音楽を提供し、国際的知名度の向上を図り、国際的な音楽ホールとしての地位を確固たるものとするための取組を進めます。



4月1日 リニューアルオープン式典

ホールアドバイザーや市民文化大使、フランチャイズ・オーケストラによる演奏会を開催

4月7日 リニューアルオープンコンサート

指揮：ユベール・スダーン、管弦楽：東京交響楽団、曲目：ブルックナー「交響曲第9番」他

極上の音楽に浸る贅沢なひととき

- 【11月16日 ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団】
- 【11月17日 ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団】
- 【11月20日 ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団】

世界3大オーケストラによる演奏
を堪能できる奇跡の1週間

○その他の主な公演

- ・「ミュージアの日」（7月1日）、「フェスタ サマーミュージア」（7月20日～8月11日）
市制記念日でミュージアの開館記念日でもある、7月1日に、ミュージアを1日楽しめる新企画を開催し、「フェスタ サマーミュージア」へ続くイベント・公演を開催します。
- ・アウトリーチ事業
ミュージア休館中、市内公共施設や音楽大学、企業のホールで開催した代替公演を、ミュージア再開後も引き続き市内公共施設等で開催し、感謝の気持ちを伝える取組を行います。

寄附金の概要&活用について

寄附金総額：22,666千円（平成25年1月4日現在）

ミュージア川崎シンフォニーホールの復旧に向けて寄せられた寄附金については、寄附者の意向である、ホールの復興となる取組、ホールの魅力及び利用者サービスの向上等につながる取組に活用させていただきます。

- | | |
|--|-------------------------|
| ① 川崎市にゆかりのある国際的コンクール優勝者によるコンサートの開催 | 7,400千円 |
| ② ザルツブルク大聖堂の鐘をモチーフとした、新たな待合わせ場所を兼ねたモニュメントの作製 | 7,287千円 |
| ③ ザルツブルク市（オーストリア）との音楽による人材交流 | 1,500千円 |
| | 平成25年度寄附金執行予定額 16,187千円 |

【参考】平成24年度寄附金執行額 (6,893千円)

モントルー・ジャズ・フェスティバル・ジャパン・イン・かわさき

41,500 千円

世界3大ジャズフェスティバルの1つ「モントルー・ジャズ・フェスティバル」の川崎版「モントルー・ジャズ・フェスティバル・ジャパン・イン・かわさき」を開催し、「音楽のまち・かわさき」をさらに進め、川崎の魅力を国内外に発信します。



○ライブコンサート

国内外の一流演奏家が川崎に集結。リニューアルしたミュージザ川崎を中心としてジャズの祭典を開催します。

○フリーライブ

市内各地でフリーライブを開催。まち全体でジャズの祭典を盛り上げます。

○ワークショップ

世界的アーティストによる実演指導を開催。一流のテクニックを目の前で体感できる貴重な機会です。



音楽大学で行われたワークショップ
(平成 24 年 11 月)

「音楽のまち・かわさき」推進協議会の取組

58,871 千円

「音楽のまち・かわさき」の推進に向け、市内各所で活動する音楽団体等の情報発信、「アジア交流音楽祭」「交流の響き」等の音楽イベントの開催支援等を行います。

<市と「音楽のまち・かわさき」推進協議会の主な連携事業>

○アジア交流音楽祭

音楽がつなぐアジアの絆

韓国・中国等のアジアの多様な文化が共生している川崎の特徴を活かし、アジアをキーワードとした音楽祭を開催するとともに、周辺商業施設や商店街での商業イベントと連携し、地域の賑わいを創出します。



川崎アゼリアでの交流ステージ
(平成 24 年 4 月)

○交流の響き

全国の若い才能が川崎に集結

全国の新聞社が開催する音楽コンクールの上位入賞者が一堂に会する演奏会を開催し、「音楽のまち・かわさき」を全国に発信します。



音楽大学での演奏会(平成 24 年 9 月)
(写真提供：神奈川新聞社)

「映像のまち・かわさき」の推進

- 1 第 68 回 毎日映画コンクール表彰式の開催及び
川崎開催に伴う地域活性化事業の支援 22,000 千円



第66回 毎日映画コンクール(平成24年2月)

毎日映画コンクール表彰式は、第 64 回から本市で開催し、来年で5回目の開催になります。表彰式を核とした様々な関連イベントを「映像のまち・かわさき」推進フォーラムと連携して発信することで、一層の盛り上がりと市内外からの集客を図り地域の活性化を進めています。

- 2 ロケの誘致 7,260 千円



川崎市役所本庁舎での撮影風景

市が所有する施設等を映像制作のロケ地として使用することで、テレビ・映画等の映像メディアを通じて、本市の魅力発信を行います。

「スポーツのまち・かわさき」の推進

スポーツを通じて、市民の川崎への愛着と誇りを育むとともに、川崎のイメージ向上や青少年の健全育成、地域経済やコミュニティの活性化など、魅力ある豊かなまちづくりを推進します。

- 1 ホームタウンスポーツを活用した
魅力あるまちづくりの推進 40,436 千円

- Jリーグクラブと連携した魅力づくりの推進
- アメリカンフットボールを活用したまちづくりの推進
- ホームタウンスポーツの推進

川崎フロンターレ



© KAWASAKI FRONTALE

アメリカンフットボール



© JFA

- 2 大規模スポーツイベントの開催
26,081 千円

- 国際トランポリンジャパンオープン
- 多摩川を活用したスポーツ大会

国際トランポリンジャパンオープン



「読書のまち・かわさき」の推進

- 新中原図書館での新たなサービスの展開
370,460 千円

学校や市立図書館、家庭、地域が連携することにより、読書の意義を踏まえ、川崎らしい魅力的な読書活動の充実と図書館づくりを推進します。

- 開館時間の延長
平日 9:30~19:00 ⇒ 9:30~21:00 まで
- 市民ニーズに対応したサービスの向上
 - ・閲覧席 (143 席→201 席)
 - ・インターネット席 (2 席→16 席)
 - ・自動貸出機、自動予約棚、自動書庫等による貸出の迅速化



読書のまち・かわさき

文化・芸術を活かしたまちづくりの推進

- 市民ミュージアム 25 周年記念事業の実施
37,503 千円

- 「新世代アーティスト展」
新たな川崎ゆかりのアーティストの育成を目的とした現代美術の祭典
- 「漫画・アニメ祭り」
市民ミュージアムならではの切り口で、漫画やアニメ作品の展示や上映、国内外の取組を紹介
- 「都市形成史展」
先端技術産業都市へと変貌している川崎の近現代史に焦点を当て、川崎の都市形成史を紹介



東海道を活用したまちづくりの推進

- 東海道を活用したまちづくりの推進
46,790 千円

平成 25 年秋に「東海道かわさき宿交流館」を開館し、地域と連携して指定管理者制度による管理運営を行います。

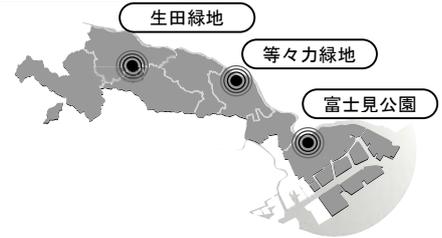
- 開館に向けた管理運営準備、広報等の実施
- 指定管理者による管理運営
- 地域活性化や地域住民による運営参画等の検討



施設のイメージ

大規模公園緑地の魅力向上と広域的なまちづくりの推進

富士見公園、等々力緑地、生田緑地の魅力を高め、最大限に活かすために、計画的な再編整備や総合的な管理運営体制の構築などを行うとともに、周辺の良いまちづくりの推進と連携した、一体的な取組を進めます。



富士見公園 2,919,267 千円

「富士見周辺地区整備実施計画」に基づく取組を推進します。

○富士見周辺地区の整備 2,919,267 千円

- 地区内各施設の連携強化等
に向けた調査検討 3,000 千円
- スポーツ・文化複合施設の整備 40,319 千円
- 競輪場の再整備 2,009,420 千円
- 長方形競技場の整備等 856,024 千円
- アメリカンフットボールを活用した
まちづくりの推進 9,893 千円
など



【長方形競技場の整備イメージ】

等々力緑地 1,026,009 千円

「等々力緑地再編整備実施計画」に沿って再編整備を推進します。
陸上競技場の第1期（メインスタンド）整備を推進します。

○等々力緑地・周辺地区整備の推進 1,026,009 千円

- 再編整備の推進 670,633 千円
 - ・陸上競技場の整備推進
 - ・硬式野球場の設計
 - ・正面広場の設計
 - ・歩行者誘導施設の整備
- 等々力緑地の施設整備等 26,898 千円
など



【陸上競技場第1期整備時
完成イメージ】

生田緑地 2,380,211 千円

「生田緑地ビジョン」に基づく取組を推進します。

○生田緑地・周辺地区の整備 1,820,048 千円

- 生田緑地の施設整備、用地取得等 878,101 千円
 - ・周遊散策路の整備（西口園路の整備）
 - ・初山地区等の整備
 - ・生田緑地用地取得 など
- ゴルフ場の整備（クラブハウスの建替など） 492,879 千円
- 緑地内博物館施設の施設整備等 449,068 千円

○生田緑地の管理運営等 469,377 千円

- 生田緑地及び緑地内博物館施設への
指定管理者制度の横断的導入による
効率的・効果的な管理運営 348,255 千円
など

○藤子・F・不二雄ミュージアム事業の推進 90,786 千円



【岡本太郎美術館】



【藤子・F・不二雄
FUJIKO F. UEYAMA MUSEUM】



【かわさき稲岡と緑の科学館】
（青少年科学館）



【日本民家園】

6 区行政改革の推進に関する取組(主な取組)

本市では、市民にとって身近な行政機関である区役所が、行政窓口サービスの提供に加え、地域社会が抱えるさまざまな課題を市民との協働により解決できる「市民協働拠点」になることを目指し、区行政改革を推進しています。また、区役所自らが、地域からの視点を活かし、多様な主体との協働により、地域社会が抱える課題の解決や地域特性を活かしたまちづくりを推進します。

区行政改革に関連する主な予算



○ 区役所、支所・出張所等の 窓口サービス機能再編の推進 【35,956千円】

区役所、支所・出張所等の窓口サービス機能を見直し、効率的で利便性の高い窓口サービスの提供を目指すとともに、連絡所等の機能再編に取り組みます。

○ 区役所等庁舎の計画的・効率的な整備 【1,437,846千円】

幸区役所新庁舎の改築工事を実施します(平成26年度完成予定)。また、区役所、支所・出張所等の庁舎について、施設の補修・改修や設備の更新等を行い長寿命化を図ります。



各区における取組の主な予算

川崎区



○ 地域防災力の向上(局区連携事業及び区独自事業) 【7,245千円】

「川崎区危機管理地域協議会」による区民・事業者・行政等の連携の強化や、効果的な避難所の開設・運営訓練を実施するとともに、外国人市民に対する防災対策や区災害対策本部に資機材を配備し、地域防災力の向上に努めます。

○ 東海道かわさき宿交流館管理運営検討事業

(局区連携事業) 【1,145千円】

「東海道かわさき宿交流館」の開館に向け、施設を活かした地域活性化の手法や地域住民による運営参画等について検討を行います。

※東海道かわさき宿交流館関連経費 45,645千円

○ 男性の育児参加促進事業 【934千円】

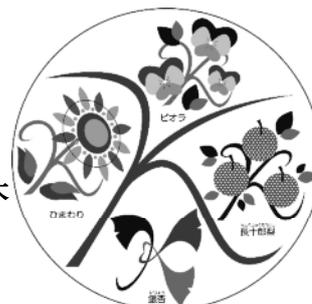
土曜日に保育園等で親子遊びを中心としたイベントを開催します。また、市民活動団体等の協力を得て、緑化に関する取組を併せて行い、世代間交流や環境意識への啓発を図ります。

○ 区の花・区の木推進事業(新規) 【2,000千円】

川崎区制40周年を記念し制定した区の花「ひまわり」「ビオラ」、区の木「銀杏」「長十郎梨」の周知・浸透を図るとともに、区のイメージアップ、地域緑化の推進、環境意識の向上につながる取組を行います。

○ いきいきかわさき区提案事業 【3,049千円】

区民会議の審議テーマ等に対して、市民活動団体などから企画提案を募集し、協働により地域課題解決に向けた事業を実施します。



川崎区

幸区

○地域防災力の向上(局区連携事業及び区独自事業)【3,426千円】

日吉地区の公立保育園等に無線機を配置して子どもの安全・安心を確保するとともに、日吉合同庁舎を情報拠点と位置付けるほか、区内大学・研究機関と連携して学生等と協力することで避難所運営体制等の充実を図ります。また区役所に必要な資器材の配備や防災フェアを開催することで、区の災害対策力を強化します。



○地域の魅力発信事業(局区連携事業)【88,876千円】

区民会議の提言を受け、区の地域資源である夢見ヶ崎動物公園一帯の魅力を高め、区民が集い、憩いの場として、また、コミュニティ活動を推進する場として、活用されるよう取り組みます。

※主な内容:アクセス道・園路の整備、樹木の剪定

○鹿島田駅周辺総合的環境整備事業(局区連携事業)【970千円】

町内会、小中学校など複数の地域団体に構成する協議会において、地域環境の課題を検討しながら、鹿島田駅周辺の総合的な環境整備活動を展開します。

※主な活動:放置自転車禁止の啓発、道水路美化活動、環境ポスター展



○区の木・花推進事業【916千円】

幸区誕生40周年を記念して平成24年度に制定した区の木・花を広く区民に周知することにより、地域の愛着心への醸成と区民のコミュニティの活性化を図ります。

中原区

○地域防災力の向上(局区連携事業及び区独自事業)【5,882千円】

東日本大震災の経験を生かして迅速かつ的確な対応を図るために、区災害対策本部室の掲示用マップや装備資器材の整備等を行い、関係機関と連携を図りながら地域の防災力を強化します。



○大型集合住宅住民組織支援事業(局区連携事業)【3,758千円】

区内大型集合住宅住民の地域組織形成への支援や近隣地域との交流促進などを目的としたイベントの開催を行います。

○中原区STOPヒートアイランド事業(局区連携事業)【4,034千円】

「中原区民環境行動指針」で示された活動の普及啓発を行うとともに、地域・市民活動団体・企業・行政が連携して、地球温暖化防止につながる区民の環境意識が向上する取組を推進します。



なかはらエコ推進大使
「ロジーちゃん」



区子育てイメージキャラクター
「ミミ」と「ケロ」

○中原区子育て支援推進事業【2,506千円】

区内7地区16カ所で開催する「子育てサロン」への支援を通じて、子育て中の親子の仲間づくりや居場所づくり等、子育てしやすい地域コミュニティづくりを推進します。

○小杉駅周辺の新たな魅力づくり推進事業(局区連携事業)【6,000千円】

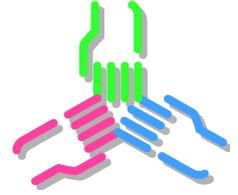
小杉駅周辺地区の再開発の進展等に伴い、新たな魅力を発信するとともに、地域の特性を活かしながらまちづくりを進めるための方策を検討します。

高津区

○地域防災力の向上(局区連携事業及び区独自事業)【4,264千円】

官民協働のネットワークによる実践的な災害対策を推進し、区災害対策本部体制の強化とともに避難所用備品(簡易防災マット等)を配備します。

また、区民一人ひとりの防災意識の向上に向け、防災フェアを開催します。



○「エコシティたかつ」推進事業(局区連携事業)【4,814千円】

「エコシティたかつ」推進方針にもとづき、学校ビオトープを活用した環境教育の推進や、区内緑地における水循環や生きものの調査活動を実施します。

○高津区ふるさとアーカイブ事業(局区連携事業)【4,181千円】

区制40周年を契機に収集した、高津区にまつわる古写真をデジタル化し、デジタルアーカイブ(データベース)として整備したものを、Webサイトで公開します。



○大山街道周辺整備活性化事業(局区連携事業)【3,713千円】

高津大山街道とその周辺の歴史的・文化的な資源を保全・活用するため「高津大山街道マスタープラン」を推進し、魅力的な空間創造と、地域活性化のための取組を推進します。

宮前区

○地域防災力の向上(局区連携事業及び区独自事業)【6,073千円】

地域防災力向上のため、地域防災リーダーの育成を目的とした専門機関による防災訓練の実施、指定避難所周知のための地域への簡易標識の整備、区地域防災連絡会議の推進などに取り組みます。

また、区民の防災意識の向上を図るために、防災フェアの開催、防災ニュースの発行を行うほか、防災推進員の養成研修及びフォロー研修を開催します。



○魅力あるスポーツ推進事業(局区連携事業)【3,327千円】

より多くの区民がスポーツに親しめる環境を作るため、未利用の公益用地を活用した施設整備を進めます。

○子ども包括支援事業(局区連携事業)【4,635千円】

0歳から18歳までの子どもを対象に切れ目のない子ども・子育て支援を目指し、不登校など問題を抱える子どもたちの居場所づくり、生活・学習支援、相談などを行います。



○地域交通環境整備事業(局区連携事業)【2,500千円】

区としての一体感や拠点性の創出に向けて、関係局と連携して交通網の整備に向けた検討を行います。

多摩区



○地域防災力の向上(局区連携事業及び区独自事業)【3,609千円】

災害時に地域の重要な拠点となる区災害対策本部の機能強化や関係機関との連携強化を図ります。

また、地域防災活動の中心的役割を担う自主防災組織の育成、区民の防災意識の向上を目指した防災フェア・防災セミナーの開催、避難所運営会議における避難所運営ゲーム(HUG)の活用などにより、多摩区全体の地域防災力の向上を図ります。

○観光振興・タウンセールス推進事業(局区連携事業)【9,000千円】

豊富な地域資源を活かした魅力あるまちづくりを推進するため、区民との協働により、地域情報誌や周遊マップ等の作成による情報発信、観光ボランティアガイドの育成などに取り組みます。



○公園を拠点としたコミュニティづくり推進事業(局区連携事業)【2,500千円】

地域コミュニティの拠点として公園を一層活用するため、市民活動団体等と協働し、モデル事業の実施、公園活用事例紹介集作成などの取組を推進します。

○公立保育所の地域支援推進事業【1,356千円】

区内公立保育所において、食育指導を含めた保育体験や子どもの発達相談など、地域の子育て支援を行います。また、民間保育所等への支援や人材育成として、研修・行事支援、園児や職員との交流を行い、保育の質の向上を図ります。



麻生区

○地域防災力の向上(局区連携事業及び区独自事業)【1,971千円】

災害等発生時に迅速かつ安全・的確な対応を図るため、初動対応及び区災害対策本部設置時に使用する防災対策図、簡易無線機などを配備します。また、区内防災関係機関・団体等と連携して地域防災力の向上を図ります。



○しんゆり・芸術のまち推進事業(局区連携事業)【7,209千円】

新百合ヶ丘駅周辺に集積する芸術関連施設や地域の団体などの地域資源と連携し、情報発信やイベント開催を行います。



○麻生区市民活動支援施設活用事業(局区連携事業)【8,072千円】

「麻生市民交流館やまゆり」を市民活動支援の拠点とし、市民の主体的な運営参画実現により、市民活動の一層の推進を図る。

○スポーツ・健康ロード整備事業(局区連携事業)【2,921千円】

区内のスポーツ資源を活用したまちづくりや区民の健康づくりを推進するため、柿生駅から川崎フロンターレ麻生グラウンドを通り栗平駅までの行程を「スポーツ・健康ロード」として整備します。

